

さすなの郷

第24号
2007 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成19年8月23日

5月12日(土) いこいの広場にて、わかふじ寮・やすらぎ荘合同のお花見が行なわれました。わかふじ寮では午前中に家族会総会が行なわれ、前年度の事業・決算・監査報告、今年度の事業計画・予算案等についての話合いの場が設けられました。ご多忙中にもかかわらず、お花見には25家族・47名の家族会の方が参加してくださいました。桜はまだつぼみの状態でしたが、天候に恵まれて良いお花見日和となりました。ご家族の方と一緒にジンギスカン鍋を囲み、利用者の皆さんには笑顔があふれていました。利用者の皆さんが山で採った行者ニンニクも美味しく頂き、ジンギスカンにも舌鼓をうちながら楽しいひと時を過ごしました。そしてお腹がいっぱいになった頃、恒例の母の日のプレゼントとして利用者よりご家族の方にカーネーションが手渡されました。日頃の感謝の

わかふじ寮・やすらぎ荘合同花見

気持ちを含めて贈った花束に、ご家族の方から喜びの声があがっていました。

わかふじ寮・やすらぎ荘
合同花見 ————— 1

屈足わかふじ園花見 — 1

平成18年度事業報告 — 2

平成18年度決算報告 — 4

各施設紹介 ————— 5

トピックス
福祉有償運送について — 13

ご寄付・ご寄贈ご芳名 — 14

手づくり家具紹介 — 14



「ジンギスカン
に夢中です」



「やっぱり花見は
ジンギスカン」

やすらぎ荘では、ほとんどの利用者が参加され、ゆつくりとお花見を楽しまれています。中会場でも紙で作った桜の花を飾るなどして雰囲気作りを行い、その花を見て楽しんでいました。ジンギスカンやお酒も「おいしい」と笑顔が見られ、春のひとときを楽しみました。



食事会です。
焼きたての肉・魚
美味しかったね。



満開の桜の下で。晴れて良かったね。

5月10日、お花見の食事会を行いました。例年は屈足公園の桜の下で食事をしていましたが、今年はクラブ活動で利用者と職員で桜の花を作り、食堂を春らしく飾り付け、いつもとはひと味違った雰囲気の中で昼食をいただきました。お花見の食事らしく、炭火で焼いた牛肉や野菜、行者にんにく等は例年よりも好評で、「お肉が柔らかくて美味しかった」という声が多く聞かれ、満足していただけたようでした。また、5月16日の午後からは屈足公園に桜を見に行きました。天気が良く、暖かくて気持ちの良い日でした。桜の花は若干散り始めていましたが、風に舞い散る花びらがとても綺麗で、その風景を味わっている方、芝生に横になりながら眺める人など、それぞれ楽しんでいた様子でした。

屈足わかふじ園花見

■法人本部

障害者自立支援法が施行され、障害者施設は4月から利用者負担や報酬の日払化が行われた。10月からは新体系事業への移行をわかふじ寮、わかふじワークセンターが行った。

聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘では、養護老人ホームのあり方に添って、ミニデイサービスの開始を行い、利用者に新たなサービスの提供を行った。

この様な状況下において、平成18年度は、厚生協会全体として経営意識の浸透と職員の意識改革に努めてきた。

- ・理事会の開催（6回）、監事監査の実施（4回）、評議員会の開催（5回）
- ・役員研修の実施（3回）
- ・全職員対象の研修の実施（1回）
- ・顧問契約の締結（松浦弁護士、富士道公認会計士）
- ・専門部会の運営（管理部会・施設在宅事業部会・就労センター部会・研修部会）

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

障害者自立支援法が4月1日より施行され、平成18年度はこの大きな制度改革への対応に追われた年となった。

特に10月には施設体系が新体系へと移行し、わかふじ寮は就労移行支援、施設入所支援へ、わかふじワークセンターは就労移行支援、就労継続支援B型の多機能型事業にそれぞれ移行することになり、それに合わせた契約書の取り交わし等、準備期間がほとんどない中での移行となった。又工賃控除の見直しなど、制度が施行されてからの見直しや変更に対応していく必要があり、大きな影響を受ける事となった。

利用者への支援の中心となる個別支援計画についてはモニタリングを定期的の実施し、支援内容の見直しや確認を行うことが出来た。実際の支援の実施については継続支援の結果、改善されて計画を終了できるもの等も見られたが、利用者の高齢化などの理由から新たな支援が必要となるケースが見られたり、支援の長期継続化や具体的な支援内容を見直す必要に迫られたりするケースも見られた。

【1】介護部門

- ・個別支援計画にそって支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】医療部門

- ・8月にミニ人間ドック受診。乳がん、子宮ガン検診は7月に通所者、3月に入所者が受診、11月にはインフルエンザ予防接種実施した。
11月末から1月末までノロウイルス対策として施設内消毒を行った。

【3】食生活部門

- ・温蔵庫・冷蔵庫を使用することで温食、冷食の実施をした。又なるべく配膳の直後に調理をすることで、温かい食事を提供するように努めた。

【4】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ・毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。
- ・学校より依頼のあった、総合学習や手話講座などについて積極的に受け入れ協力した（受入5校）

【5】授産事業

- ・公共事業・補助金削減や資材・燃料費の高騰などの影響を受け、厳しい環境の中での活動であり、「売上の確保」「仕事量の確保」「コスト削減の強化」を目標に事業振興に取り組んだが、営業不足等による家具受注の伸び悩みが要因となり、売上を大幅に減少させた。
- ・授産事業総売上額 83,045,000円（前年比59.6%）
- ・利用者の月額平均工賃

わかふじ寮（就労移行支援）	25,175円
第2わかふじ寮（身障授産）	17,100円
わかふじワークセンター（就労移行支援）	44,889円
（就労継続B型）	52,500円

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

養護老人ホームの制度改革が行われ、今後の養護老人ホームのあり方が問われる中、聴覚障害者専用の養護老人ホームとしての使命を今以上に確立していかなければならない時期に来ている。聴覚障害者の拠り所となるべき施設として、専門性の強化、障害特徴の深い理解に向けて、初心に戻り聴覚障害者老人への処遇を考えて行った。また、制度改革に対応する体制を確立するために職員の業務内容等の変更や制度の理解を深めるため検討し取り組んだ。

【1】生活支援部門

- ・要介護者が適切な介護サービスを受ける事が出来るように8月から個別契約でのサービス提供をした。

【2】医療部門

- ・夜間は専用の携帯電話にて看護員は当番でオンコール体制で緊急時の対応を行った。

【3】給食部門

- ・洗濯メニューの実施回数を週1回から週2回に変更し実施した。

【4】地域社会との交流・広報活動

- ・聴覚障害者との交流においては全道ろうあ者福祉大会、全道ろうあ者夏季体育大会、全道ろうあ老人交流会へ参加した。また、全道ろうあ者夏季大会においては地元開催であったため、競技係、会場係等の協力をした。
- ・地域との交流については12月に新得小学校2年生の見学、日高中学校1年生の手話の歌発表など交流をした。また、町民芸能芸術祭や陶芸センターまつり等に参加し一般町民との交流を深めた。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との密接な連携を図った。

地域と時代のニーズにあった介護サービスの提供を検討し、職員一人一人が主体性を持ってサービスの質の向上に取り組み、重度化していく利用者の安全で安心な住まいとなるよう努めた。ショートステイについては可能な限り緊急時の対応を行い、利用者の在宅生活を支える拠り所となる機能を持たせた。

【1】介護部門

- ・ユニットケアを目指し、サービス向上委員会から新たに排泄委員会・食事委員会・入浴委員会の3つの委員会を立ち上げた。この委員会には介護職員全員が所属し、全体で考え進めていき、より良いサービスを提供していく事を大切にしたい。

【2】医療部門

- ・家族への状況報告、説明を密にし、ターミナルケアについてのマニュアルの整備に取り組んだ。また、ターミナルケアについての研修会を6月19日と7月14日に実施した。
- ・利用者個々に調査し、栄養スクリーニング・栄養アセスメント・栄養ケア計画等を作成し評価を行った。3ヶ月毎に見直し、作成し、ご家族に同意をいただいた。

【3】研修

- ・ターミナルケアの研修など様々なものを施設内にて13回行い、職員の知識と技術の向上に努めた。法人研修への参加にも努めた。

【4】短期入所生活介護事業

- ・家族等介護者の都合により、緊急利用が必要な利用者を受け入れ迅速に対応した。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。また、予防保険制度の改正による通所サービスの実施のため、機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等、選択的サービスの体制作りに努めた。しかし、機能訓練の希望は増えてきているが(実数11名)、他のサービスについては、需要がみられなかった。従来の通所介護サービスについては、アクティビティの内容の充実を図りより利用者を楽しんで頂けるよう創意工夫を行った。

【1】利用者サービス

- ・利用者の機能低下を防ぎ、在宅生活継続に向け支援を行うと共に目標を設定し、改善の可能性を実現する為適切なサービスの提供ができるよう計画した。また利用曜日の変更、介護度変更、複数回数利用があった場合は、随時通所介護計画書の変更を行った。
- ・サービス向上委員会、行事計画担当委員にてサービスの質の向上について検討し、5月から選択レクリエーション、8月より昼食時の調味料の設置、9月より毎日喫茶コーナーの開始、月に1度の外食を実施した。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

平成18年度より介護保険の改革に伴いケアマネジメントの質の向上のために標準担当件数の引き上げが実施された。当事業所では、ケアマネジメントの増員をはかり利用者に対し、よりきめ細やかな対応ができるような体制の整備を行った。また、医師及び各関係機関との連携を強化し、利用者のニーズを的確にケアプランに反映させていくよう努めた。さらに予防介護のケアマネジメントについては、研修等に参加し情報の収集にあたった。

【1】具体的計画

- ・サービス事業者と必要に応じてケア会議を開催し本人・家族の意向を尊重したモニタリングを行い、総合的な援助サービスの提供に努めた。
- ・4月4日にNPO法人Bau集団川村善規氏を講師に迎えて事業所内研修を行い、参加者は30名におよんだ。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

【訪問介護サービス】

利用者の望む在宅生活が送れるようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるよう一層の努力を行ってきた。そして、その有する能力に応じて自立した生活を営むことが出来るように家事支援、生活全般にわたる援助を行った。

【身体障害者・知的障害者居宅介護サービス】

平成17年9月に身体障害者及び知的障害者居宅支援事業所を立ち上げ、在宅生活に必要な生活全般にわたる援助を行っていただける体制を作ってきた。今年度は、障害者自立支援法の執行により、より一層の在宅支援が求められるため障害者一人一人のニーズに対応したサービス提供ができるよう障害特性の理解を含めて職員の研鑽を積んできた。

■屈足わかふじ園

障害者自立支援法が施行されたことにより、4月からは報酬の日払化や利用者負担のあり方が大きく変わった。

また10月からは従来のデイサービスが廃止になり、経過的デイサービス事業となった。

このように施設を取り巻く現状は厳しさを増しているが、個別支援計画に基づき、利用者へのサービス提供に努めた。

【1】介護部門

- ・個々のケアプランを作成し、毎月のモニタリングをはじめ定期的に評価し、生活の援助場面に活用した。
- ・ヒヤリハット報告書を活用して、重大な事故に繋がる前に対策を講じ、職員間で周知徹底を図った。

【2】医療部門

- ・インフルエンザ予防接種を実施すると共に、加湿、換気、うがい等の徹底を図った。
- ・ノロウイルス対策として、手洗い及び毎食前の消毒を徹底した。
- ・感染症予防マニュアルの再配布を行ない、感染症予防対応の再確認を行なった。

【3】給食部門

- ・嗜好調査については随時行なった。また給食会議に利用者2名の出席を得て行なった。
- ・利用者の意見も聞きながら、行事食の献立を立てた。
- ・セレクトメニューを週2回実施し、本人に選んで選択してもらい提供した。

【4】リハビリ部門

- ・個別の訓練計画を立て、ケアプランに反映させた形で進めることができた。
- ・月2回、理学療法士とスタッフによる身体状況と訓練メニューの評価を行ないながら進めることができた。

【5】生活支援部門

- ・入所前面接の時に説明を十分に行ない、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行なった。
- ・利用者の困りごとや相談には、個別に対応した。
- ・利用者間同志における苦情については、支援員が仲介に入り随時対応を検討した。
- ・月1回、利用者懇談会を開催し、生活場面における意見や要望を聞き、互いに生活について考える機会を持つようにした。

【6】その他

- ・避難訓練を2回実施し、その内1回は夜間を想定した訓練を行なった。
- ・ビデオを利用した防災学習を行なった。

■屈足わかふじデイサービスセンター(事業報告)

平成18年10月より経過的デイサービスとして実施している。

全体的な利用状況として、延べ利用者数が昨年度より187名の減少(計463名)であった。このことについて、平成17年度で利用中止者が4名いたこともあり、4月の時点で比較すると登録数が4名少ない6名であり、年間を通して長期入院の利用者がいたことがあげられる。また、新規利用者増の対策として、法人広報誌による利用の呼びかけや役場保健師を通し声掛けを行ない、希望者がいたものの、利用者増に結びつかなかった。

活動内容として、機能訓練では主にビデオ体操を重視し、レクリエーションではボールやサイコロを使用した運動やホワイトボードを使用したゲームを行なった。また、近隣の公園(屈足公園・清水公園)等に外出し、園外での活動機会を増やした。

平成18年度 決 算 報 告

平成19年3月31日

財 産 目 録

(単位:円)

資 産 の 部		金 額
科 目	摘 要	
流 動 資 産		461,249,976
固 定 資 産		3,157,097,049
資 産 合 計		3,618,347,025
負 債 の 部		金 額
科 目	摘 要	
流 動 負 債		75,323,678
固 定 負 債		387,410,733
負 債 合 計		462,734,411
差 引 正 味 資 産		3,155,612,614

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		金 額	負 債 の 部		金 額
科 目			科 目		
流動資産		461,249,976	流動負債		75,323,678
固定資産		3,157,097,049	固定負債		387,410,733
			基本金		14,500,000
			国庫補助金等特別積立金		1,843,302,833
			その他の積立金		198,795,865
			次期繰越活動収支差額		1,099,013,916
資産合計		3,618,347,025	負債純資産合計		3,618,347,025

事 業 活 動 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	279,562,516
利用料収入	7,586,520
措置費収入	166,938,281
支援費収入	291,190,082
自立支援費等収入	297,270,818
補助事業等収入	1,761,250
経常経費補助金収入	40,000
寄附金収入	3,733,764
雑収入	19,013,823
借入金元金償還補助金収入	118,230,000
借入金利息補助金収入	6,847,581
経理区分間繰入金収入	132,587,581
受取利息配当金収入	385,184
授産事業収入	83,045,180
施設整備等寄附金収入	8,039,429
補助金等特別積立金取崩額	57,274,614
収入合計	1,473,506,623
人件費支出	647,625,938
事務費支出	129,413,647
事業費支出	176,933,795
借入金利息支出	8,194,670
経理区分間繰入金支出	132,587,581
授産事業支出	107,260,150
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0
引当金繰入	13,248,920
減価償却費	82,633,501
固定資産処分損	0
支出合計	1,297,898,202
当期活動収支差額	175,608,421
前期繰越活動収支差額	949,209,063
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	25,803,568
次期繰越活動収支差額	1,099,013,916

資 金 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	279,562,516
利用料収入	7,586,520
措置費収入	166,938,281
支援費収入	291,190,082
自立支援費等収入	297,270,818
補助事業等収入	1,761,250
経常経費補助金収入	40,000
寄附金収入	3,733,764
雑収入	19,013,823
借入金元金償還補助金収入	118,230,000
借入金利息補助金収入	6,847,581
経理区分間繰入金収入	132,587,581
受取利息配当金収入	385,184
授産事業収入	83,045,180
施設整備等寄附金収入	8,039,429
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	0
収入合計	1,416,232,009
人件費支出	647,625,938
事務費支出	142,662,567
事業費支出	176,933,795
借入金利息支出	8,194,670
経理区分間繰入金支出	132,587,581
授産事業支出	106,489,001
流動資産評価減による資金減少額	633,595
積立預金積立支出	25,803,568
借入金元金償還金支出	126,470,000
固定資産取得支出	10,054,337
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	1,377,455,052
当期資金収支差額	38,776,957
前期末支払資金残高	347,149,341
当期末支払資金残高	385,926,298

●道東ろうあ者スポーツ交流会

5月20日(日)道東ろうあ者スポーツ交流会が新得町で開催されました。パークゴルフとソフトバレーボールの2つの競技がサホロリバーサイドパークゴルフ場と町民体育館で行われ、道東より延べ96人の皆さんが参加しました。少々肌寒い天候でしたが、久しぶりに会う仲間との会話も弾み、とても楽しく交流を深めました。十勝聴力障害者協会の成績は以下の通り。

- ・パークゴルフ男子 1位・老木 洋二、2位・山内 幸男、4位・平田 常男
5位・川口 豊、6位・道端 均
- ・女子 3位・川口 武子、5位・笠井ヒロ子
- ・ソフトバレー 8チーム中8位



道東ろうあ者スポーツ交流会パークゴルフ



道東ブロックスポーツ交流会開会式

道東ろうあ者スポーツ交流会
パークゴルフ入賞者



●わかふじ寮自治会パークゴルフ大会



入賞者

6月9日(土)自治会主催のパークゴルフ大会が行われました。天候にも恵まれ、クラス別にサホロリバーサイドと運動公園のパークゴルフ場の2会場で行ない、日頃の練習の成果を競い合いました。競技終了後、わかふじ寮の中庭でおにぎり片手にジンギスカンをほおばって、お互いの健闘をたたえ合い楽しい時間を過ごしました。成績は以下の通り。

- 【Aクラス男子】1位・道端 均、2位・後藤 勝治、3位・山内 幸男
- 【Bクラス男子】1位・井上 勝、2位・市川 安男、3位・田村 潔
- 【女子】1位・笠井ヒロ子、2位・本間久美子、3位・平田クニ子
- 【Cクラス男子】1位・坂井 忠、2位・鈴木 勝雄、3位・片岡 虎雄
- 【女子】1位・北守 幸子、2位・笠井 洋子、3位・木村 容子
- 【Dクラス男子】1位・大山 和広、2位・斉藤 隆雄、3位・菊池 真
- 【D・Eクラス女子】1位・松尾セツ子、2位・豊田しゅう子、
3位・野々村しずえ
- 【Eクラス男子】1位・横山 一行、2位・高橋三代彦、3位・菅野 代隆



豊田
しゅう子



わかふじ寮の中庭にて昼食



(Dクラス男子1位
大山和広)

●全道ろうあ者夏季体育大会

6月23・24日、第40回全道ろうあ者夏季体育大会が伊達市で開催され、わかふじ寮からはパークゴルフ競技に18名が参加しました。大会当日はうす曇りで涼しい天候となり、競技を行うには過ごしやすい1日となりました。今までにないアップダウンの厳しいコースで、全道でもトップクラスの難しいコースでしたが、全員健闘しました。

十勝聴力障害者協会の成績は以下の通り。

- 【Aクラス男子】6位・川口 豊、10位・西村 勉
- 【女子】5位・川口 武子
- 【Bクラス男子】4位・笠井 有宏
- 【女子】4位・笠井ヒロ子



老木洋二選手



全道ろうあ者夏季体育大会
(伊達市)

●作業グループ紹介



安田指導員を中心とした利用者5名のグループで、特注家具の製作を行なっています。最近では栃木県にある社会福祉法人足利むつみ会様よりご注文を承り、ロッカー・タンス・食堂テーブル等多数の家具を、利用者の皆さんと共に一生懸命製作し、納品致しました。これからも利用者の皆さんと一生懸命製品作りをしていき、たくさんご注文をして頂けるように全力で取り組んでいきたいと思っています。



平田 常男さん



豊岡 嘉章さん



市川 安男さん



亀岡 尚志さん

■製品の紹介■



オーダー家具・修理などについてのお問い合わせは、わかふじ寮までお願いします。

TEL: 0156-64-5001

FAX: 0156-64-5522

●新入所者紹介

・七島敦子さん（ななしま あつこ）

昭和32年6月12日生まれ。青森県大間町出身。6月1日に入所されました。趣味は旅行です。早く施設の生活に慣れ、楽しみたいと思っています。



●新職員紹介

・小針健一（こはり けんいち）

第2わかふじ寮の技術指導員として勤務しています。先輩のみなさんより御指導を頂きながら、利用者と手話で会話ができる様に頑張っています。そして、新事業のペットのフード事業を担当することになっており、責任を持って頑張っていこうと思います。よろしく、お願いします。



・高尾ゆかり（たかお ゆかり）

今年の5月から技術指導員として勤務しています。利用者の皆さんに助けられながら毎日の作業に取り組んでいます。どうぞよろしくお願いします。



道東サッシセンター様より わかふじ寮に寄付

5月12日、13日に「家づくり 夢づくり フェア2007」がとかちプラザで開催されました。このフェアを主催した道東サッシセンターが、フェアでのチャリティーオークションの益金11,250円をわかふじ寮に寄付してくださいました。道東サッシセンターとわかふじ寮は、以前から資材などの取引がある事から毎年寄付を頂いています。

皆様の温かいご支援、誠にありがとうございます。



授産の新規事業に日本財団の助成が決定

前号でも、お知らせした授産の新たな事業となるペットフード生産事業の拠点となる旧佐幌小学校の改修工事について、以前より日本財団に助成申請を行っていましたが、6月18日に改修工事、授産機器の整備合わせて21,400,000円の助成金の交付決定をいただきました。改修事業の内容は、主に佐幌小学校の体育館を加工工場にするため、床をコンクリートに変更する工事が中心になります。教室については包装作業などに使用するための電気工事を行います。

操業は10月から開始予定

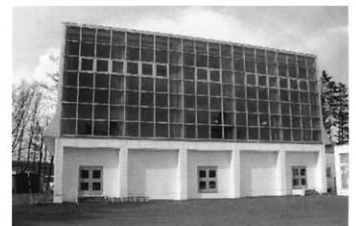
工事が順調に進むと10月から試験操業を開始し、利用者10名が製造作業にあたります。その後生産が軌道に乗った後は包装作業に10名加わり、20名の利用者がペットフード生産作業にあたり月産16トン为目标に工賃の大幅アップを目指しています。販売は、法人の藤原理事が社長を勤めるエフエム通商が中心となり、全国の量販店、生協などを中心に行う予定になっています。製品は安全をモットーに無添加のペットフードを生産します。又、販売の全国展開にあたり製品も一般的な牛肉・豚肉・鶏肉だけでなくホッケ・さけ・ホタテ・鹿肉など北海道らしさを前面に出した商品展開を予定しています。



体育館内部。床をコンクリートに変更します。



ペットフードの生産工場となる
旧佐幌小学校



作業場に改修する体育館



教室は包装用の作業室になります

ブログを開設しました。

今回の助成事業にあたり、日本財団の公益コミュニティサイト「CANPAN」で事業の様子の情報発信を行っていますのでぜひご覧ください。アドレスは <http://blog.canpan.info/wakafuji/> になります。Yahoo Googleなどの検索サイトで「ペットのおやつ工場」と入力すると検索できます。

新得小4年生との交流会

3月7日(水)に新得小学校4年生38名が「わかふじ寮」と「やすらぎ荘」の2グループに分かれ、18名がやすらぎ荘にて交流しました。利用者は30名参加され、最初お互いに緊張しながらも交流を始めました。3グループに分かれ、ジェスチャーゲームを行いました。食べ物や動物を児童がジェスチャーで表現し、利用者が手話で答えていくうちに緊張が解け、ジェスチャーが通じると拍手が沸き、喜び合いました。最後に手遊びをしました。利用者は慣れない手遊びに戸惑いながらも真剣に児童の手の動きを見つめ、児童と手遊びを楽しんでいました。わかふじ寮でも同様に伝言ゲームを行い皆さん喜ばれており1時間という短い時間でしたが、利用者も孫のような児童と交流ができ、いい刺激になったと思います。



うん(?) もうちょっとゆっくり教えて!



手と手でタッチ!



交流会 楽しい～～～

お茶会

3月16日 ホールでお茶会が開店されました。今回のメニューは、ホットケーキでトッピングは、あんこ・シロップ・チョコレートの3種類の中から自分の好みの味を選びました。そして、飲み物もホットミルク・コーヒー・ジュースから選んでホットケーキと共に味わいました。仲の良い友達同士でゆっくりとお話をされ楽しい時間を過ごされました。



う～～～ん まいう～



みんなで食べると
美味しい!!



最高だぜ!

開所記念日帰り旅行(大樹町)

今年度の日帰り旅行は、6月の14日と18日に大樹町へお元気な方たちが出掛けました。両日共に天候に恵まれ、車窓から眺める広々とした十勝の田園風景は素晴らしく、ドライブも満喫する事が出来ました。大樹町ではホテルでおいしいランチを食べ、公園で満開の花を見ました。帰りは音更町の柳月スイートピアガーデンで冷たいスイーツを心ゆくまで堪能し、お土産も買って、皆さん楽しい思い出を各々胸に笑顔で帰りました。



やすらぎのカップルです。

お酒も すすみます



音更の
柳月前で

開所記念日帰り旅行(鹿追町)

6月21日は近くでランチを楽しめる形を取り体力に自信のない方が主に出掛けられました。朝から晴天で車中からのぞく山や花などが鮮やかで利用者の方も大変喜ばれていました。

瓜幕の道の駅で間近で見る馬に驚かれたり、馬にさわって「大きい。」とずーっとさわっている方もいました。昼食は鹿追の「カントリーパパ」に行きましたがオムライスが大好評でふわふわの卵をほおって「美味しい」と満面の笑みを見せてくれました。

帰荘後は疲れた様子もなく、今日1日の事を話し利用者同士で盛り上がっていました。



卵がふわふわでおいしい



馬と一緒に ハイチーズ



天気も良くて暑かったです



こんなに食べ
れるかしら?



ふうー良い男が2人そろってる



どこ見てるの?

利用者の皆さん、 ご協力ありがとうございます

廊下の掃除や花壇の花植え等、日々の生活で利用者の方にたくさんお手伝いをしていただいています。時には利用者の方から 掃除しましょう 等、職員に積極的に声を掛けてくれて一緒に楽しく行っています。

花壇の植付けでは、まったく花の事がわからない新人の職員に対して、 こうするんだよ 等、教えてくれていました。他にもテーブル拭きや食事の下膳、食堂の掃除等色々と積極的に手伝いをしていただいています。皆さん本当にありがとうございます。



働きものです



職員の手伝いしてくれています



きれいー



床もピカピカ



職員の手伝いしてくれています



正油 片づけます



テーブルもピカピカ

お盆もきれい！

新規入所者紹介（養護）

泉 磯吉さん



平成19年2月26日函館市から入所されました。明るく元気でじっとしているのが嫌いなのか来た時から食堂の掃除、ゴミの集めのお手伝いなど自らすすんで行ってくださっています。

漁師をしていたとの事で、自慢の海の話聞かせてくれます。チョッピリお茶目でタバコが好きな磯吉さんです。

川口 榮さん



平成19年4月27日栗山町から入所されました。手話が上手で入所されたその日から元気にやすらぎ荘の皆さんと楽しそうに話されていました。穏やかで温厚な人柄で芯の強い方です。また、お菓子やジュースが大好きで元気に笑い楽しそうに生活されています。

若 柳 会

5月23日に屈足の若柳会の方がやすらぎ荘、新得やすらぎ荘に踊りを見せに来てくれました。やすらぎ荘デイホールはこの日の踊りを楽しみに待っていた利用者で満員。開演時間になると軽快な歌謡曲と共に色あざやかな着物を身にまとった踊り手が舞台上上がり華麗な踊りが始まりました。

10曲程踊りを見せてくれましたが、1曲毎に人が入れ替わり、着物が変わり、踊りも変わり大変美しかったです。

若柳会の皆様ありがとうございました。また、お待ちしております。



キレイだなあ



3人踊りそろってみんなうっとり

買い物外出

6月14日に職員と利用者の方4名で帯広のイトーヨーカドーへ買い物に出掛けました。この日はあいにくの雨でしたが、皆さん何を買うかで行く時の車内は大盛り上がり。

イトーヨーカドーに着くとたくさんの商品の中から何を買うか迷いながら皆さん思い思いに洋服やお菓子を選び買い物を楽しまれていました。お昼ご飯もお蕎麦やお寿司など好きな物を食べられており、帰る時には「大満足です。また、行きたいです。」と笑顔で買い物外出を楽しまれていました。



楽しく買い物
お菓子も買ったぞ



これから買い物！

新規入所者紹介（特養）



福永 ヨシ子さん

福永さんは平成19年4月1日に入所されました。入所前からショートステイを利用されていたので、施設での生活には慣れていたようです。

性格はとてもやさしくいつも家族の事や職員の体調を気づかってくれます。また、お話や歌が大好きで昔話をたくさん教えてくれたり、音楽クラブではいつも素敵な歌声を聞かせてくれます。



福澤 マルさん

平成19年3月8日に入所された福澤マルさんは優しくおだやかな性格の方でお散歩やお花を見る事が好きです。入所された頃は緊張していた様子が表情が硬い事がありましたが、最近では施設生活に慣れてきた様子でたくさんの笑顔を見せてくれます。これからも楽しく生活を送って頂きたいと思っています。

喫茶メニューに アイスクリーム登場

昨年度より開始となった喫茶ですが、従来のコーヒー・紅茶・ビールに加え新しく、6月中旬よりアイスが加わりました。このアイスクリームは、利用者からの「アイスクリームが食べたい」という声を聞き、メニューに取りいれました。暑い日や入浴後は冷たいアイスクリームは好評で、人気メニューのひとつとなりました。今後も利用者一人ひとりの声を聞き、喫茶メニューの検討をしていきたいと思っています。



アイスクリーム
美味しい！



暑い日は
最高です

短期入所生活介護事業所 新得やすらぎ荘の増床工事開始

現在、短期入所生活介護事業所新得やすらぎ荘（ショート・ステイ）は、介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘に併設し、5床（と入院枠2床）の体制でしたが、この度、新得町の補助金、約4500万円と自己資金、約1400万円で増床工事が決まりました。工事は、6月21日着工10月末に完成という予定です。建物は同敷地内に増設する形になり、個室部屋が5床と入浴室などを整備し、今までの5床に加え全10床となります。より多くの方々の利用が出来るよう整備し、完成を待ち望んでいます。

ミニデイ報告

ミニデイが始まり半年以上がたち、通われている利用者の方は、それぞれにやりたいことを見つけ取り組んでいます。その中で今、挑戦されているのが牛乳パックで作るハガキです。5月初め頃から作り最初は失敗作ばかりでしたが、今ではいろいろな模様をつけたりと工夫しています。完成品のハガキについては、ふれあい盆踊りで販売を行ったり、暑中見舞いのハガキとして使用する予定です。みなさんもぜひ、下の工程を参考に作ってみてはいかがでしょうか。

ハガキ作りは こうやります！

- ①  牛乳パックを乾かす
- ②  パルプをミキサーにかける
- ③  パルプを型に流す
- ④  形をととのえる
- ⑤  もようをつける
- ⑥  型から外す
- ⑦  窓でかわかす
- ⑧  できあがり

ひな祭り

3月2日に、ひな祭りの行事として、食堂に飾られたひな壇の前で写真撮影を行ないました。

今年は、あみだくじで写真を撮るペアを決めました。利用者の皆さんは、それぞれの名前が書かれた線の行方をどきどきしながら見ていました。ペアになる相手が決まると、衣装として用意されていたものの中から好きな浴衣や扇子等を選び、それを身に付けて写真を撮りました。衣装の中には変わった髪型のカツラもあり、ユニークなおだり様やおひな様となって登場する場面があり、利用者も職員も一緒にひな祭りの行事を楽しみました。



理事長と一緒に

2人とも最高の笑顔です



外注食（ロッキーラーメン）

3月8日に屈足わかふじ園の厨房が、一日ラーメン店ロッキーとなって、利用者の方々に温かいラーメンを提供しました。

赤いのれんをつけたカウンターから、味噌・塩・醤油と3種類の味のラーメンが出されます。寒い中、好きな味のラーメンをみんなでふうふういいながら食べました。いつもとは違う専門店の作るラーメンの味に、心も体もホカホカになりました。



食事前の挨拶

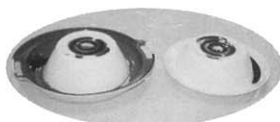


「ごちそうさまでした」
「美味しかったよ」

ホワイトデー

3月14日のホワイトデー、昨年まではクッキーを作っていたのですが、今年は利用者を驚かせようということで、バケツでプリンとゼリーを作ることになりました。小さめの新品のバケツにそれぞれ市販のプリンとゼリーの素を入れて作ったのですが、バケツから取り出す瞬間には特に気を使いました。ひとつで50人分もある巨大なプリンとゼリーに「大きい」や「すごい」と、皆驚いていました。大きなプリンは一人分ずつ皿に盛り、生クリームやチョコレートで綺麗に飾り付け、昼食に合わせていただきました。自分たちで飾り付けたプリンを「美味しいね」と言いながら満足そうに食べられていました。午後からはホワイトデーを記念して集合写真を撮りました。皆さんとても素敵な笑顔で、新しい思い出ができました。

プリン入刀。
二人で初めての共同作業



バケツプリン完成です！



ボードを掲げて、みんなで記念撮影です。

還暦の祝い

3月23日に還暦の祝いを行いました。今回、還暦を迎えられたのは馬場光夫さんと菊地賢治さんです。還暦祝いの赤いちゃんちゃんこを身につけてお祝いの席上についた二人は、少し恥ずかしそうにしていたが、利用者、職員の皆から「おめでとう！」と声をかけられると笑顔になり、「ありがとう」と微笑んで答えてくれました。

お祝いの記念撮影をし、ケーキやお祝いの食事を皆でいただき、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

馬場さん、菊地さんこれからも元気で過ごしてください。



馬場さん 還暦おめでとうございます。

外 出 行 事

今年度も外出行事を企画し、利用者の希望を聞きながら5月から外出行事が始まっています。まず今年度最初の外出は5月2日に、利用者4名と職員2名、そして今回初めて学生ボランティアを募集し、帯広コア学園から2名の協力をいただき、旧忠類村のナウマン記念館へ行きました。当日生憎の雨で、バスの乗降時に濡れてしまい大変でしたが、学生の方のお陰で、スムーズに行なうことが出来ました。また、学生の方からも積極的に利用者に話しかけており、利用者も普段行くことのない場所への外出の他に、学生との交流も楽しんでいた様です。

また、5月27日の池田町への外出行事でも、帯広コア学園から2名の協力をいただきました。こちらも雨でしたが、数量限定の焼肉弁当や美味しいと評判のハピネスデイリーのアイスクリームを堪能し、皆喜んでいました。利用者3名とも学生の方と共に楽しまれ、別れ際には感極まって泣き出す方もいました。

6月6日には利用者3名と職員3名で、外出行事で一番遠い陸別町の天文台へ行きました。天文台で、ガイドさんによる星やオーロラの説明を聞き、また今まで観る機会が無かった金星や全天体の中で一番明るい星を観せていただき、利用者・職員共々感動しました。帰りの車中では、長旅で疲れていた様でしたが、今回の外出の思い出や途中に立ち寄った、松山千春記念館など話題が絶えませんでした。

今後も利用者に楽しんでいただける様、時には学生のボランティアを依頼しながら、外出行事を企画していきたいと思ひます。



池田町でボランティアさんと一緒に「カシヤ！」



ナウマン記念館にて。化石今にも動きそう

屈足手話の会との交流

5月15日、屈足手話の会の皆様に来園していただき、毎年恒例となっている歌に合わせた手話を披露していただきました。

数曲を披露していただいた後、手話の会の皆様から手話を教わり、最初は戸惑っていた利用者の方も最後には笑顔で一緒に歌に合わせて手話をする事ができました。

午前中の短い時間でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。



いろいろな手話を覚えました。また来て下さい。

屈足保育園運動会参加

6月24日、屈足保育園よりご招待を受け、保育園の運動会に参加しました。当日は天候も良く、まさに運動会日和で、園児の皆さんの競技や遊戯にも熱がはいっておりました。頑張って競技している姿や可愛い踊りを拝見し、利用者・職員共々「頑張れー！！」と大きな声援を送りました。

また屈足保育園の御厚意により、利用者の競技も用意してくださり、一生懸命ゴール目指して走りました。皆さんとても満足された様子で「楽しかった」という声が多数聞かれました。

今後も施設の行事にも参加していただく等して、屈足保育園との交流を深めていきたいと思ひます。



園児のみんなと一緒にゴール目指そう！



もうすぐゴールだ！何位かな

福祉有償運送とは、NPOや社会福祉法人などの非営利法人が、高齢者や障害者等公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院・通所・レジャーなどを目的に有償で行なう車による移送サービスのことをいいます。

高齢化の進展・障害者の社会参加の増加・介護保険や支援費制度の導入などを契機としてニーズが一層拡大し、実施する団体も増加してきております。

厚生協会でも、運行管理に関する基本的な事項を定め、新得町福祉有償運営協議会の承認と北海道運輸局の許可を受け、新得やすらぎ荘と屈足わかふじ園の2つの事業所でリフト付き福祉車輛 計4両と事前に講習を受けた11名の運転者で、平成18年2月22日から開始しております。

(概要)

◎運送主体

営利を目的としない法人

福祉有償運送を行なうことが、当該法人の目的の範囲外の行為に当たるものでないこと。

◎運送の対象

あらかじめ登録した会員及びその付添人

会員は、以下に掲げる方のうち、単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者であること。

- ・要介護認定を受けている方
- ・身体障害者手帳の交付を受けている方

◎使用車両

使用することができる車両は、以下に掲げる車両(いわゆる福祉車両)であること

- ・車椅子もしくはストレッチャーのためのリフト、スロープ、寝台などの特殊な設備を設けた自動車
- ・回転シート、リフトアップシートなどの乗降を容易にするための装置を設けた自動車

◎運転者

普通第二種免許を有している又は普通第一種免許を有している場合は、一定期間運転免許停止処分のないこと、国土交通大臣が認定する講習の終了などが必要。

今後も移動に制約のある利用者のために、福祉有償を活用し、社会参加の機会が増えることを願っています。

行事のお知らせ

■屈足わかふじ園

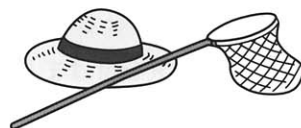
- 8月15日(水) 夏の夕べ・花火大会
8月25日(土) きずなの郷まつり
12月24日(日) クリスマス会

■やすらぎ荘

- 8月3・10日 外食日(特養)
7日(火) 花火大会(特養・養護)
9日(木) 大相撲清水場所(特養・養護)
8月～9月 全道ろうあ者大会(特養・養護)
9月 秋の味覚祭(特養・養護)
一泊旅行(養護)
10月 ゲーム大会(特養)
11月 買物外出(養護)
長寿の祝い(特養・養護)
12月 クリスマス会(特養・養護)

■わかふじ寮

- 8月12日(日)
～15日(木) 夏期休暇
9月 1日(土)
～2日(日) 第48回全道ろうあ者大会(札幌)
9月15日(土) 合同運動会
17日(月) 第6回全道ろうあ者パークゴルフ
交流会(函館)
30日(日) 道東ブロック聴覚障害者生活訓練
事業(新得)
10月 6日(土) 文化祭
12月22日(土) クリスマス会
28日(金) もちつき感謝の集い



御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成19年3月～19年8月分（敬称略）

（本部）
苫小牧市 牧野 武司

（わかふじ寮）
旭川市 鈴口 幸雄
小樽市 金子 治朗
別海町 水沼 猛
砂川市 年籾 末子
標茶町 大山 悠子
札幌市 工藤 末子
標茶町 千葉 勲
深川市 須田 有俊
日高町 藤沢 英明
標茶町 大山 敏宏
新得町 菅原 武夫
芽室町 後藤 幸雄
新得町 （有）みうら
帯広市 笠井 勝範
広尾町 亀田 平

札幌市豊平区 境 幸子
むかわ町 貴俵サワ子
岩見沢市 佐藤 陽一
苫小牧市 木村 忠信
札幌市東区 平田 敬一

（新得やすらぎ荘）
宮城県 猪股 勇悦
新得町 木村 幸江
札幌市 鳥潟 賢
釧路市 浅野 光則
帯広市 仲鉢 重忠
芽室市 オークル
釧路市 中鉢 秀樹

（屈足わかふじ園）
新得町 千葉 玄昭
太田やす子
八木ツル子

新得町 赤池 範子
霜野よし子
五十嵐 静
玉川菓子店
小林扶美子
野田 慶子
小笹ヒロ子
成清 孝一
ともしび会
平江 孝
吉田スミ子
浦地 芳江
川口アキノ
小田天光堂
吉田 達栄
札幌市 浅窪みどり
帯広市 柳沢 秀一
美唄市 嶋原 ヤイ
音更町 宮路 禮子

芽室町 藤澤 三夫

（やすらぎ荘）
新得町 千葉 玄昭
当麻町 山口 和子
新得町 三浦 商店
美瑛町 堀川 静香
神奈川県 鈴木 悦子
札幌市 新岡美代恵

（日帰りサービスセンター）
新得町 吉田 達栄
矢萩 節子
佐藤 弘恵

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ
<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会 E-mail アドレス

wakafuji@rose.ocn.ne.jp （屈足わかふじ園）
wakafuji@netbeet.ne.jp （わかふじ寮）
yasuragi@rainbow.ne.jp （やすらぎ荘・新得やすらぎ荘）

この広報紙の中で使われている利用者の顔写真等については、ご本人の了承をいただき、掲載しています。

編/集/後/記

今回は写真をいっぱい取り入れた内容にしてみました。施設や利用者の様子がよりわかりやすく反映されたと思います。
今年は残暑が長引くと言われています。季節の変わり目がいつになるかわかりませんが、皆さんお体に気を付けましょう。

家具・小物・雑貨など、まずはお気軽に相談ください。

わかふじ寮の手づくり家具
シンプル
丈夫で長持ち



素材：パイン・パイン集成材 サイズ：2400×450×520

手づくり家具なんて贅沢で、特別な人だけものとおもっていませんか？

高級なものなど無用です。
普段使いの、しかし、ちょっと遊び心のある家具をあつらえてみませんか？
それを使い込む…使い込むほど愛着が深まる…
そのような家具を造ります。●

まずはご相談ください。
こんなもの…あんなもの…
皆様の思いをお聞かせください。

メール・FAX・電話 いずれでも結構です
ご連絡をおまちしております!!

メール takahashi@wakafuji.or.jp
電話 0156-64-5001
FAX 0156-64-5522

